

MAGICVAC

真空パック器 Maxima2(マキシマ2)

取扱説明書 〈保証書付〉

型式：MV608 (P0608ED)

■お客様へ



- ・このたびは、マジック・バック真空パック器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- ・この「取扱説明書〈保証書付〉」をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書といっしょに大切に保管し、必要なときにお読みください。

■目次



・安全上のご注意	2～3
・各部のなまえ	4～5
・使用方法(ロール袋の下準備)	6～7
・使用方法(袋を用いた真空パックの方法)	8～11
・オートサイクル運転	10
・マニュアル運転	11
・使用方法 (別売り万能フタまたは専用容器 ACJ1083 を用いた真空パックの方法)	12～13
・使用方法(別売り専用容器 ACO1082 を用いた真空パックの方法)	14～15
・使用方法(マリネサイクル)	16～17
・真空パック後の保存方法・解凍方法	18
・使用上のご注意	18
・本体の収納方法	18
・お手入れの方法	19
・故障かな?と思ったら	20～21
・製品仕様	21
・保証書・アフターサービスについて	21
・消耗品・アクセサリのご紹介と購入方法	22
・保証書	23

■ 安全上のご注意（必ずお守りください。）

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告： この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意： この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ずすること）を示します。



警告

電源コードやプラグについて



次のことを必ず守る
（火災や感電の原因になります）

- 電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、乾拭きする。
- 電源コンセントは交流100Vを使用する。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜く。
- 電源プラグはコンセント根元までしっかりと差し込む。
- 使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。



次のことはしない
（火災や感電の原因になります）

- コンセントの差込口がゆるいときは使用しない。
- 電源プラグやコンセントが傷んでいるときは使用しない。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せたり、高温部に近づけない。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作しない。



警告

使用について



次のことを必ず守る

- お手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜く(感電、けがの原因になります。)



次のことはしない

- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所では使わない。(感電、けが、やけどの原因になります。)特に乳幼児にはご注意ください。この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません。
- 本体に水をつけたり水をかけたりしない。(ショート、火災、感電のおそれがあります。)
- 使用後はシールバー、シールガasketや袋のシール部に絶対に触れない(やけどの原因になります。)
- 別売りの万能フタを使用する際は、薄いプラスチックやガラス容器を使わない(容器が圧力差で破裂し、けがの原因になります。)

異常・故障について

(火災や感電の原因になります。)



●絶対に分解したり、修理・改造はしない。

- 電源コードが破損した場合、自分でコードの交換をしない。危険防止のため、コードの交換は弊社または同等の有資格者によって行わなければなりません。



注意

使用について



次のことを必ず守る

- 運転間隔は最低2分以上あける。(故障、熱変形の原因になります。)

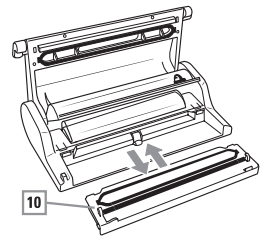
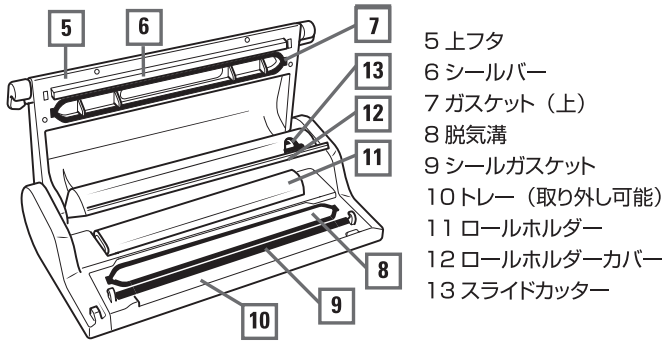
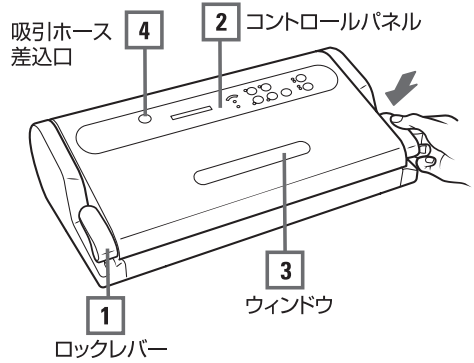
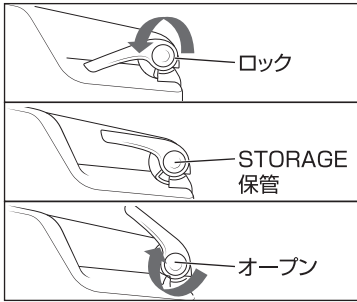


次のことはしない

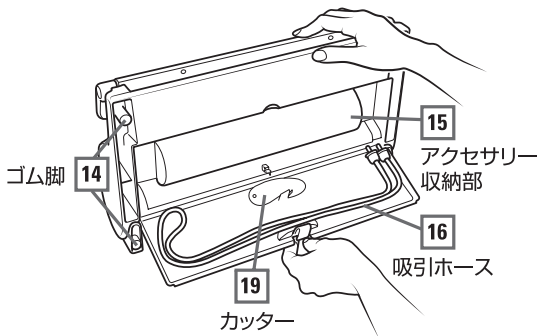
- 脱衣所や風呂場、温室など湿気の高いところでは使用しない。(感電、故障、結露、カビの原因になります。)
- この商品を他の人に譲渡するときは、新しく所有者となる人が安全な正しい使い方を理解できるよう、この「取扱説明書〈保証書付〉」を商品本体の目立つところに必ず貼付してください。

■ 各部のなまえ

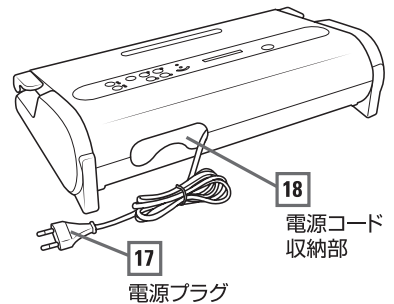
ロックレバーの位置



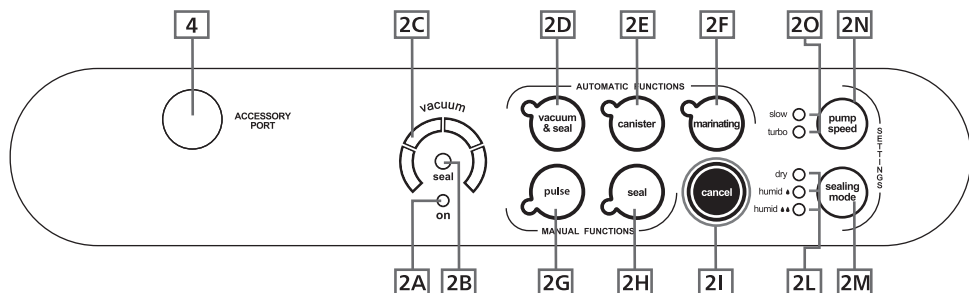
本体底面



本体背面

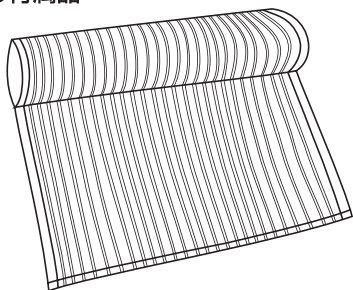


コントロールパネル



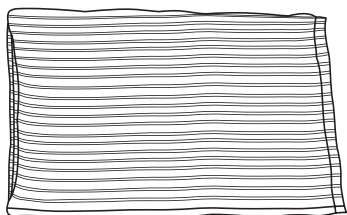
- 2A グリーンランプ（緑）：レバーが運転位置にあるときに点灯します。
- 2B シールランプ（赤）：シール運転中に点灯します。
- 2C 吸引ディスプレイ：吸引の進捗具合を表示します。
- 2D オート運転ボタン：吸引からシールまで自動で行う場合に押します。
- 2E 専用容器ボタン：専用容器を使用して吸引を行う場合に押します。
- 2F マリネボタン：2.5リットル専用容器のみ使用可能な急速マリネ運転をします。
- 2G 手動吸引ボタン：ボタンを押している間ずっと吸引し続けます。
- 2H 手動シールボタン：強制的にシールサイクルを行います。
- 2I キャンセルボタン：運転を中止したい場合に押します。
- 2L シールモードランプ：選択されたシールモードを表示します。
- 2M シールモードボタン：3種類のシールモードから選択します。
- 2N 吸引スピードボタン：2種類の吸引モードから選択します。
- 2O 吸引スピードランプ：選択された吸引スピードを表示します。
- 4 吸引ホース穴

●付属品



ロール袋（幅 30×長さ 300cm）1本
密封する食品に合わせて、ご自由な長さに切ってご利用になれます。

（ロールを袋にして使うので、ロール袋と呼びます。）



カット袋（20×30cm）5枚
あらかじめ袋状になっており、片端を接着する必要がなく便利です。

■ご使用方法（ロール袋の下準備）

カット袋、下準備の終わったロール袋を使用する場合は、8ページの「■ご使用方法（袋を用いた真空パックの方法）」をご覧ください。

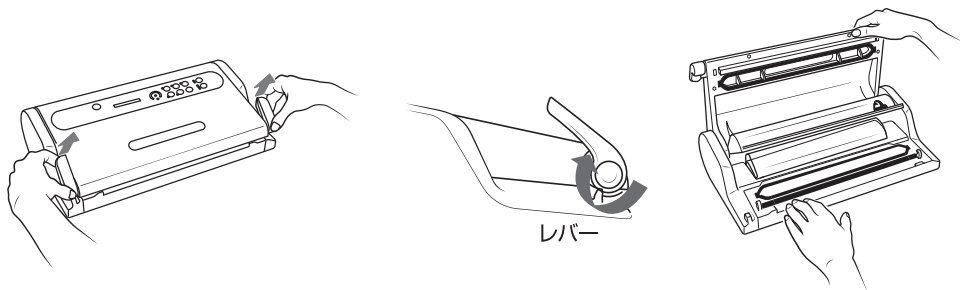
●必ずマジックバック専用袋をお使いください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

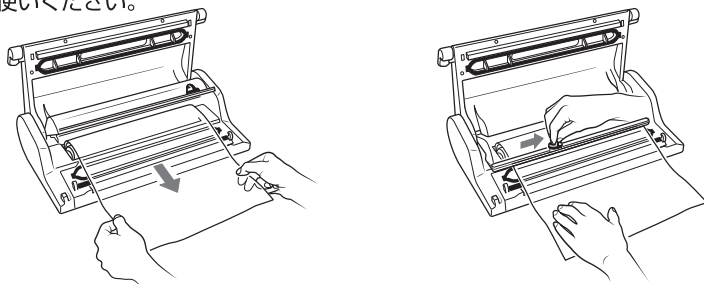
- ・ 本体を水平で乾いたところに置いてください。
- ・ 本体の手前に、袋と保存する食品を置く十分なスペースをとってください。
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2. ロール袋を必要な長さに切る

- ・ レバーをオープンに回しながら、上フタをいっぱいにかけてください。

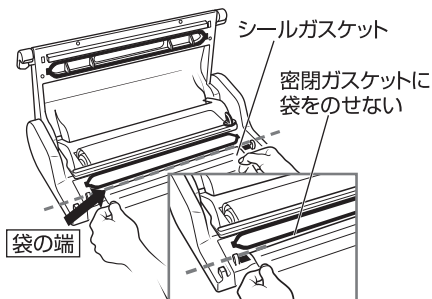


- ・ 食品を入れるのに十分な長さのロール袋を引き出し、ロールホルダーカバーを開じて、スライドカッターを端から端までスライドさせてカットしてください。ロール袋は食品の入る長さプラス最低8cmほど長めにカットしてください。袋を再利用する場合は、2cm長めに切ってお使いください。



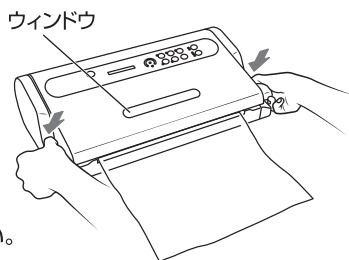
3. シール（溶着）の準備をする

- ・ 袋の一方の開口部を、凹凸のある面を上にして、シールガスケットの上に置きます。
- ・ 袋の開口部を、密閉ガスケットの上に置かないでください。そこから空気が抜けて、シールする過程まで進みません。

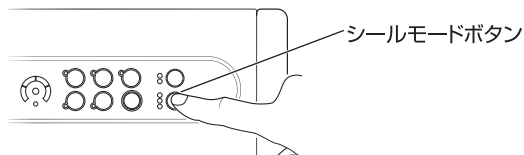


4. シール（溶着）する

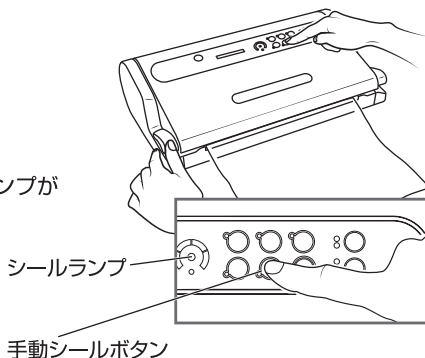
- ・ ゆっくりと上フタを閉め、レバーをロックの位置に回してください。ウィンドウのランプ、グリーンランプ（緑）、吸引スピードのターボランプ（青）、シールモードの humid ▲ ランプ（赤）が点灯します。ウィンドウで袋の端の位置がずれていないか確認してください。



- ・ シールモードボタンを押してドライを選択してください。

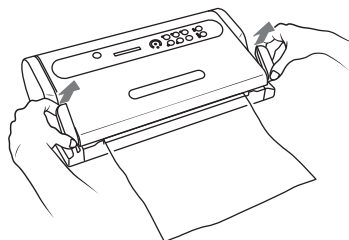
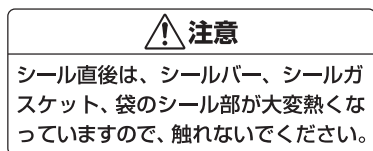


- ・ 手動シールボタンを押してください。シールランプが点滅し、約5～7秒後に消えます。



5. 袋を取り出す

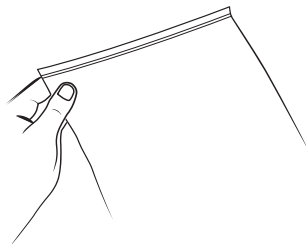
- ・ レバーをオープン位置に回しながら上フタを開け、袋を取り出してください。



6. シール部分の確認をする

- ・ シール部分にシワがなく、まっすぐな筋になっているか確認してください。

注意：シール（溶着）が不十分ですと、空気漏れの原因となります。



7. 電源プラグを抜く

- ・ 電源プラグをコンセントから外してください。

■ご使用方法（袋を用いた真空パックの方法）

ロール袋は6～7ページの「■ご使用方法（ロール袋の下準備）」にしたがってあらかじめ袋を準備してください。

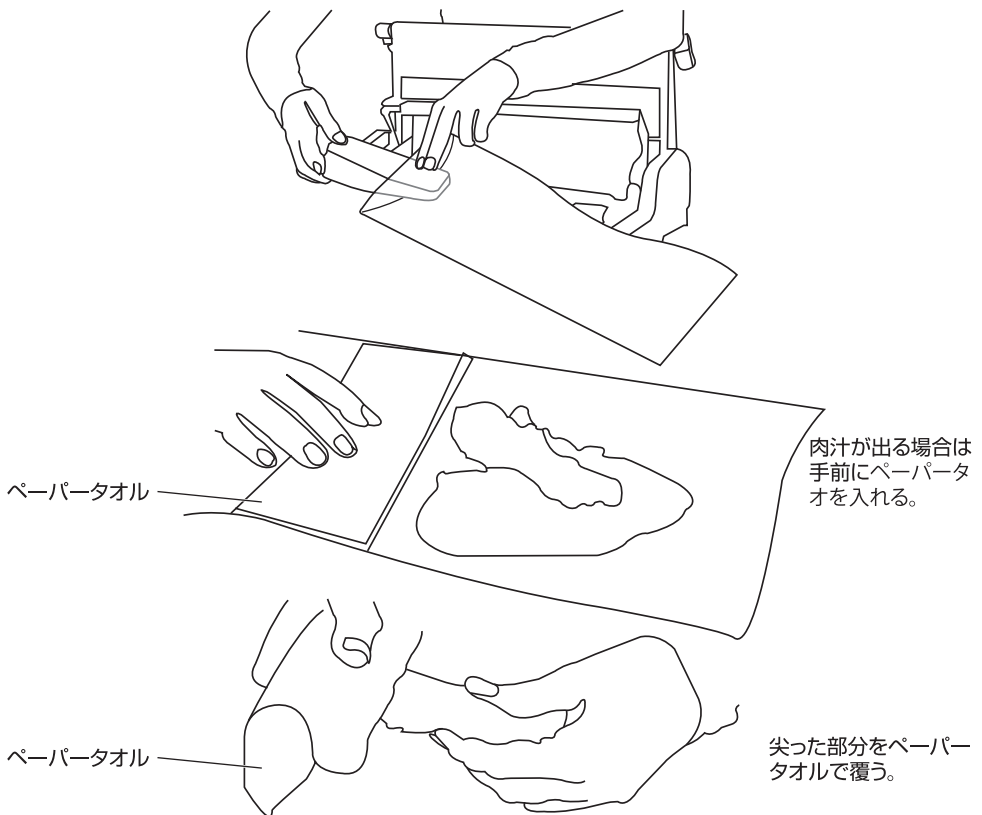
●必ずマジックバック専用袋をお使いください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・ 本体を水平で乾いたところに置いてください。
- ・ 本体の手前に、袋と保存する食品を置く十分なスペースをとってください。
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

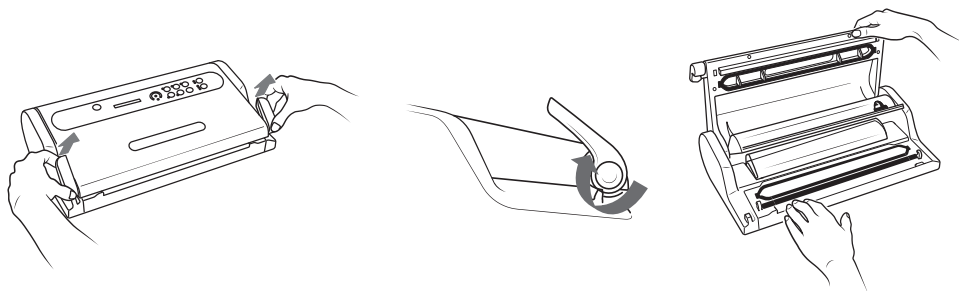
2. 食品を袋に入れる

- ・ 食品を袋に入れ、袋内の水分を拭き取ってください。
- ・ 汁物はそのままで袋で真空パックできません。一旦凍らせてから行うか、別売りの万能フタもしくは専用容器をお使いください。
- ・ 骨や乾燥パスタのような先の尖った部分のある食品を真空パックする場合は、袋が破れないようにするため、尖った部分をペーパータオルなどで覆ってから密封してください。
- ・ 傷んでいる食品は保存しないでください。

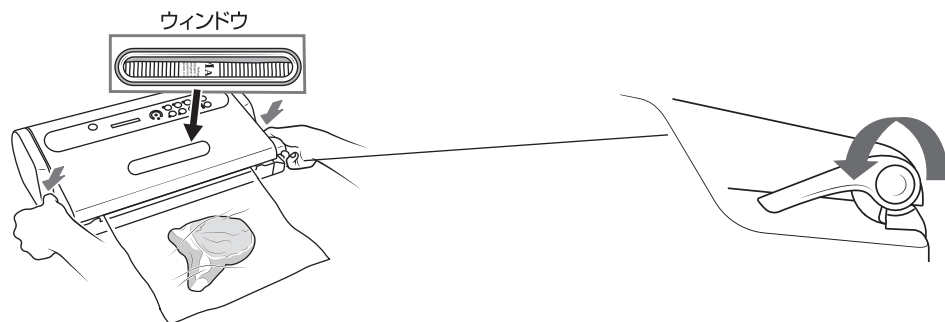
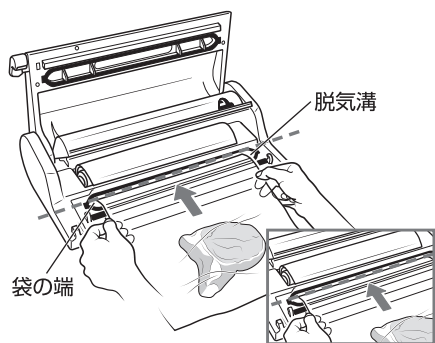


3. 袋を真空パック器にセットする

- ・ レバーをオープン位置に回しながら、上フタをいっぱいにかけてください。



- ・ 袋の凹凸面を上にして、袋の開口部を脱気溝に入れて、上フタを閉めてレバーをロックの位置に回してください。



- ・ ウィンドウで袋の端が脱気溝に入っていることを確認してください。

オートサイクル運転（吸引・シールを自動で行う）

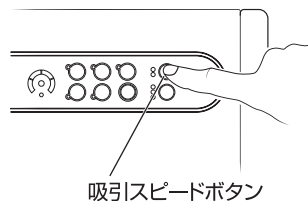
ボタンを1回押すだけで、吸引からシールまで自動的に行い終了します。

4. モードの選択・変更

・ 吸引スピードの変更

真空パックする食品の種類によって吸引スピードボタンで吸引スピード選択してください。

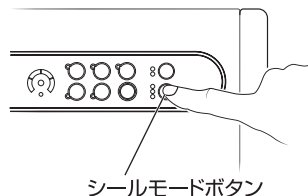
- ・ slow：割れやすい食品などを袋で吸引する場合などに選択してください。
- ・ turbo：しっかりと吸引したい場合に選択してください。



・ シールモードの変更

真空パックする食品の種類によってシールモードボタンでシール具合を選択してください。

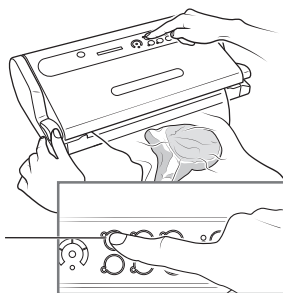
- ・ Dry：クッキー、米、コーヒーなど
- ・ Humid▲：チーズ、乾燥食品、サラミなど
- ・ Humid▲▲：赤肉、魚類



5. 吸引・シールする

オート運転ボタン（Vacuum&Seal）を押してください。
自動的に吸引とシールを行います。

吸引ディスプレイのランプが左下から点灯していき、中央のシールランプ（赤）の点滅が終われば完了です。

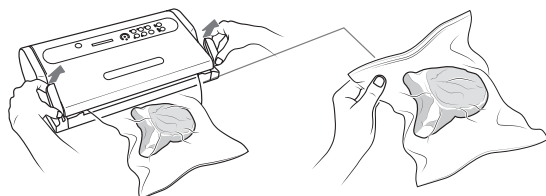


6. 袋を取り出し、シール部の確認をする

ロックレバーをオープン位置に回しながら上フタを開けて袋を取り出してください。

シール部分にシワがなく、まっすぐな筋になっているか確認してください。

シール（溶着）が不十分だと、空気漏れの原因になります。



⚠ 注意

シール直後は、シールバー、シールガスケット、袋のシール部が大変暑くなっていますので、触れないでください。

使用後は電源プラグをコンセントから外してください。

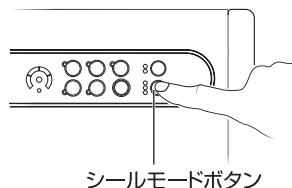
以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

マニュアル運転（吸引具合を確認しながらシールのタイミングを手動で調整する）

食品が割れたり、形がくずれやすい場合に早めにシールモードに入れたり、吸引をしっかりで行いたい場合、吸引具合を確認しながら、手動でシールに入るタイミングを調整することができます。

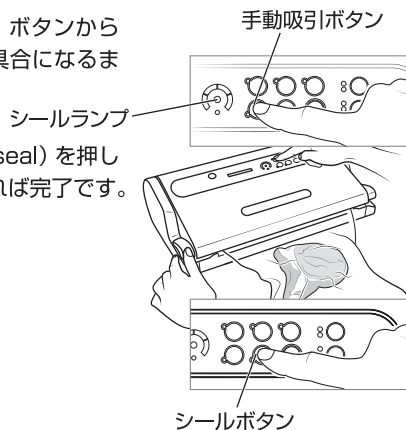
4. モードの選択・変更

- ・シールモードボタン（sealing mode）でシールモードを選択し、吸引スピードボタン（pump speed）でslowを選択してください



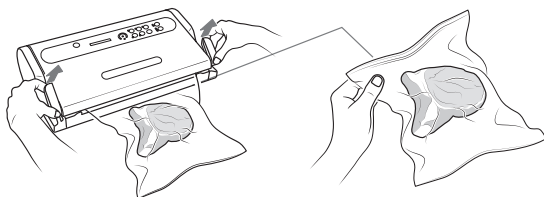
5. 吸引・シールする

- ・手動吸引ボタン（pulse）を押してください。ボタンから指を放すと吸引が停止します。お好みの吸引具合になるまで、この動作を繰り返してください。
- ・お好みの吸引具合になったら、シールボタン（seal）を押してください。シールランプ（赤）の点滅が終われば完了です。



6. 袋を取り出し、シール部の確認をする

- ・ロックレバーをオープン位置に回しながら上フタを開けて袋を取り出してください。
- ・シール部分にシワがなく、まっすぐな筋になっているか確認してください。
- ・シール（溶着）が不十分だと、空気漏れの原因になります。



⚠ 注意

シール直後は、シールバー、シールガスケット、袋のシール部が大変暑くなっていますので、触れないでください。

- ・使用後は電源プラグをコンセントから外してください。
- ・以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

■ご使用方法(別売り万能フタまたは専用容器ACJ1083を用いた真空パックの方法)

- 別売りの万能フタや別売り専用容器ACJ1083を利用すると、何回でも真空パックができ経済的です。液状の食品や乾燥して割れやすい食品など小さいものをたくさん脱気したいときに便利です。
- 万能フタはご家庭にある直径4~12cmの開口部をもつ強化ガラス製の容器といっしょにお使いください。
- 万能フタと専用容器ACJ1083のふたの使い方は同じです。

注意：

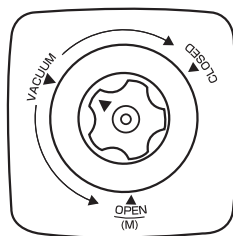
- ・万能フタを利用する際は、薄いプラスチックやガラス容器を使用しないでください。容器が圧力差で割れ、けがをする恐れがあります。
- ・ご使用前に、食品に触れる容器をきれいに洗ってください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・本体を水平で乾いたところに置いてください。
- ・電源プラグをコンセントに差し込んでください。

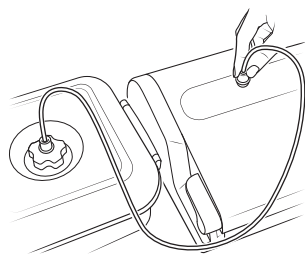
2. 食品を容器に入れる

- ・容器に食品を入れ、食品とフタの間に少なくとも3cm以上のすきまができるようにしてフタをしてください。
- ・専用容器ACJ1083は左右のレバーを下げてください。
- ・フタのダイヤルを右回りに回して、矢印を“VACUUM”に合わせてください。



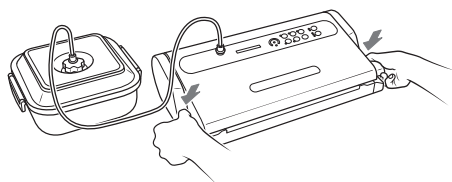
3. ホースを差し込む

- ・付属のホースを、本体とフタ中央の吸引ホース差込口にそれぞれしっかりと差し込んでください。



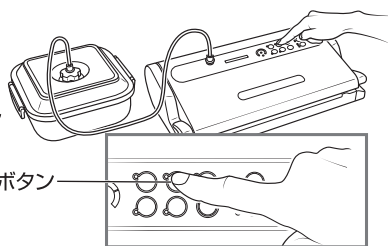
4. 上フタを閉める

- ・上フタを開けてレバーをロックの位置に回してください。



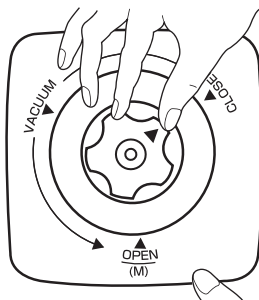
5. 吸引する

- ・専用容器ボタン（Canister）を押してください。
- ・自動的に吸引を行います。
- ・吸引ランプが左下から点灯していき、中央のシールランプ（赤）の点滅が終われば完了です。



6. ダイヤルを“CLOSED”に合わせる

- ・ホースを本体とフタ中央のホース差込み口からそれぞれ引き抜いてください。
- ・フタのダイヤルを右回りに回して、矢印を“CLOSED”に合わせてください。

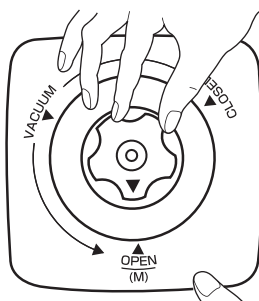


7. 電源プラグをコンセントから抜く

- ・電源プラグをコンセントから外してください。

以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

密閉した容器または万能フタを開けるには、ダイヤルの矢印を左に回して“OPEN”に合わせてください。すると、空気が容器に入る“シュー”という音がします。この音で、容器が吸引密封されていたことがわかります。



■ご使用方法（別売り専用容器ACO1082を用いた真空パックの方法）

- 別売り専用容器ACO1082を利用すると、何回でも真空パックができ経済的です。液状の食品や乾燥して割れやすい食品など小さいものをたくさん脱気したいときに便利です。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

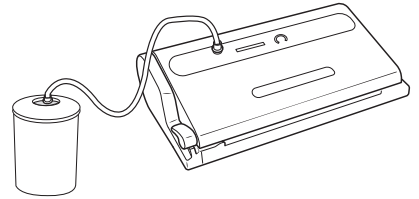
- ・ 本体を水平で乾いたところに置いてください。
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2. 食品を容器に入れる

- ・ 容器に食品を入れ、食品とフタの間に少なくとも3cm以上のすきまができるようにしてフタをしてください。

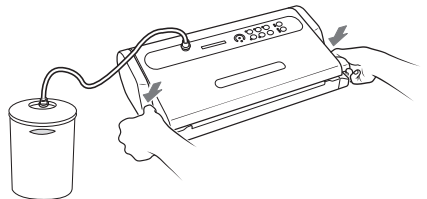
3. 上ホースを差込む

- ・ 付属のホースを、本体と容器のホース差込口にそれぞれしっかりと差し込んでください。



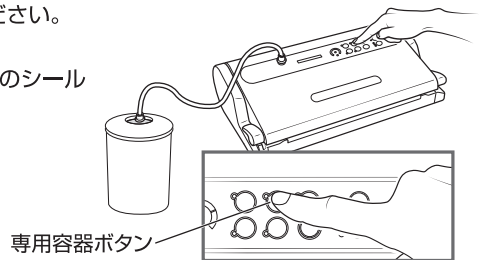
4. 上フタを閉める

- ・ 上フタを閉めてレバーをロックの位置に回してください。



5. 吸引する

- ・ 専用容器ボタン（Canister）を押してください。
自動的に吸引を行います。
吸引ランプが左下から点灯していき、中央のシールランプ（赤）の点滅が終われば完了です。



6. ホースを外す

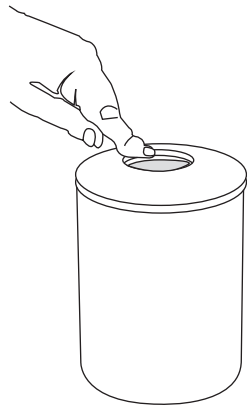
- ・ホースを本体と容器のホース差込口からそれぞれ引き抜いてください。

7. 電源プラグをコンセントから抜く

- ・電源プラグをコンセントから外してください。

以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

密封した容器を開けるには、容器の中央のゴム部分を押ししてください。すると、空気が容器に入る“シュー”という音がします。この音で容器が脱気密封されていたことがわかります。



■ご使用方法（マリネサイクル）

真空することで、調味料が吸収されやすくなり、短時間でマリネにすることができます。

マリネサイクルを使って、数分間真空状態を保ち、30秒間真空を解除するサイクルを数回繰り返します。このプロセスを繰り返すことで、より早くマリネ漬けにすることができます。マリネサイクルが終了すると、アラーム音でお知らせします。1サイクルは約14分間です。

肉や魚をマリネにする場合は、長方形の2.5リットルの別売り専用容器ACJ1083を使用します。他の容器はこのサイクルでは使用することができません。

--- マリネの参考レシピ ---

材料（4人分）		下準備
スモークサーモン	100g	1 玉ねぎを薄切りにする。
玉ねぎ	1個	2 調味料をボウルに入れ混ぜ合わせる。
レモン汁	大さじ1	3 専用容器ACJ1083に玉ねぎ→スモークサーモン→
酢	大さじ1	玉ねぎ→スモークサーモンと順番に重ね入れる。
塩	小さじ1	4 2の調味料をまんべんなく回してかける。
こしょう	少々	
オリーブオイル	大さじ3	

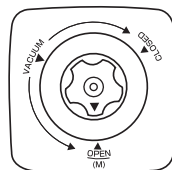
1 食材を入れる

容器を置き、材料を入れてください。食品と容器のフタの間に少なくとも3cm以上のすきまができるようにし、フタをしてください。左右のレバーを下げてください。

2 つまみを回す

フタのつまみをOPENにあわせてください。

マリネサイクル中は常にダイヤルの位置はOPENの状態にしておきます。



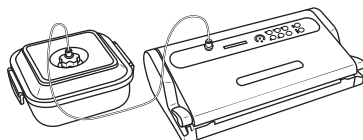
3 電源プラグをコンセントに差し込む

本体を水平で乾いたところに置いてください。

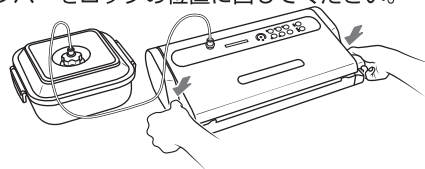
電源プラグをコンセントに差し込んでください。

4 ホースを差し込む

付属のホースを本体とフタ中央の吸引ホース差し込口にそれぞれしっかりと差し込んでください。

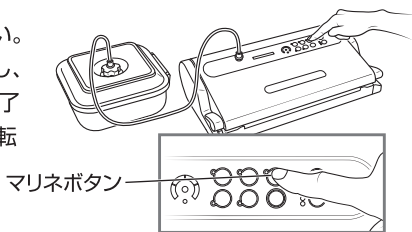


上フタを閉めてレバーをロックの位置に回してください。



5 吸引する

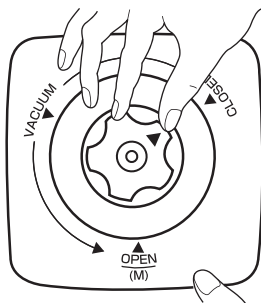
マリネボタン (Marinating) を押してください。吸引サイクル中はボタン左上の青ランプが点灯し、停止中は点滅します。3回目の吸引サイクルが終了すると、ブザーが鳴り自動的に終了します。運転時間は約14分間です。



6 終了する

すぐに盛り付けする場合は、本体のキャンセルボタンを押し、容器側と本体側のホースを差込口からホースを引き抜いて、容器のフタを開けてください。

そのまま真空状態で保管する場合は、容器のダイヤルをCLOSEDに合わせてから、本体のキャンセルボタンを押し、容器側と本体側のホースを差込口からホースを引き抜いてください。



キャンセルする場合

運転中にキャンセルしたい場合は、キャンセルボタンを押すか、ロックレバーをオープン位置に回してください。

再度マリネ運転をする場合

- 1 容器のダイヤルをOPENにして、容器側の差込口からホースを外し、容器内に空気が満たされるまでお持ちください。
- 2 容器側の差込口にホースを再度差し込んでください。
- 3 再度項目5の「吸引する」から行ってください。

■真空パック後の保存方法・解凍方法

●保存方法

真空パックした食品は、必ず適温保存（冷蔵または冷凍）してください。本真空パック器を使用しても完全真空にはならず、少量の空気が残ります。室温での保存は腐食を早めますので、ご注意ください。

●解凍方法

袋で真空パックした食品を解凍する場合は、冷蔵庫でゆっくり解凍してください。スープ類は、袋ごとお湯で温めるなどしてください。その際は角に一ヶ所穴を開け、蒸気が出るようにしてください。一度温めたり、解凍した食品は、腐敗しやすいので、早めにお召し上がりください。

■使用上のご注意

●野菜や果物の密封について

果物や野菜は呼吸しているため、そのままでは密封できません。真空パックする際は、野菜はゆでる、果物はカットするなどしてから真空パックしてください。

●肉類の密封について

赤身の肉を真空保存すると、色が変色することがありますが、これは空気（酸素）が抜けたためで、開封すると空気が入り込み元の色に戻ります。但し、肉類に含まれる血分が脱気時に抜けると元の色に戻りにくくなる場合があります。

●魚類の密封について

魚類は一晚冷凍させてから真空パックしてください。やわらかいため形がくずれることがあります。

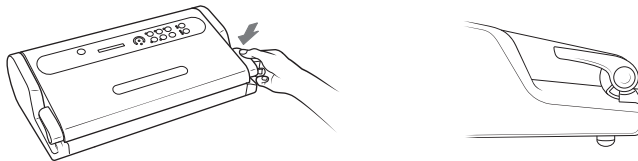
●袋を再利用する場合

一度真空パックに利用した袋を再利用する場合は、中性洗剤をつけたスポンジで袋をきれいに洗い、水またはぬるま湯でよく洗い流してください。ペーパータオルなどで水分をよくふき取り、完全に乾かしてから再度ご利用ください。

■本体の収納方法

使用しないときは下記のように保管してください。

- ・電源コードはコードボックスに収納してください。
- ・レバーはSTORAGE（保管時）の位置に回してください。



注意：レバーをロックの位置にしたまま長時間保管すると、パッキンが劣化する可能性があります。パッキンが劣化すると空気漏れがして脱気運転が正しくできなくなります。

本体は直射日光が当たらず、温度が高くないところで保管してください。

■お手入れの方法

お手入れをする前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

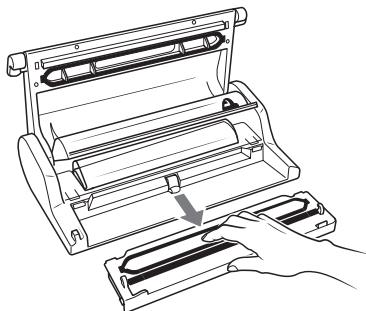
注意 次の物は機械を傷つけますので、使わないでください。

研磨剤、磨き粉、粉石けん、アルカリ性洗剤、アルコール、ガソリン、石油、酸、たわし、熱湯、先のとがったもの

●トレイ

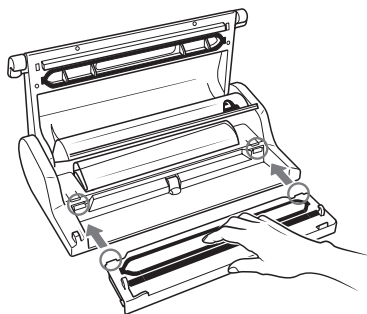
トレイの脱気溝には肉汁などが溜まることがありますので、汚れたら取り外してお手入れしてください。

1 トレーを手前にスライドさせて、本体から外してください。



2 トレーは中性洗剤をスポンジにつけて洗ってください。洗ったら水をよく切り、完全に乾かしてください。

3 トレーの2本のツメを本体の溝に合わせて本体に押し込んで入れてください。



●その他のプラスチック部分は、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を布に含ませ、汚れをふき取り、その後乾拭きしてください。(ベンジン、アルコール、シンナー、研磨剤入り洗剤は使用しないでください。)

●別売り万能フタや専用容器は中性洗剤とぬるま湯で洗い、乾燥させてください。食器洗浄機は使用しないでください。

■故障かな？ と思ったら

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていることを確認してください。 ●他の電化製品の電源プラグをコンセントに差し込み、電気がきていることを確認してください。 ●本体は過熱すると自動的に止まるようになっていきます。冷えるまで15分ほど待ち、再度お試しください。 ●電源コードとプラグを点検してください。もし、異常があれば修理を依頼してください。
ロール袋の最初の端が接着できない	<ul style="list-style-type: none"> ●袋が6ページの「■ご使用方法（ロール袋の下準備）」の“3.シール（溶着）の準備をする”の説明に書かれている通り、正しく置かれているかをお確かめください。
袋の空気を吸い出さない	<ul style="list-style-type: none"> ●専用の袋を使っていることを確認してください。 ●袋の開口部が脱気溝の中に入っているか確認してください。 ●シルバーとシールガスケットにごみがついていないか確認して汚れていたらきれいに拭いてください。 ●袋に穴が開いていないか確認してください。再度シール（溶着）するか、別の袋をお使いください ●吸引中に食品から液体が流れ出る場合は、冷凍させてから真空パックするか専用容器をご利用ください。
袋をうまくシール（溶着）できない	<ul style="list-style-type: none"> ●もしシルバーが過熱していて袋を溶かしているようであれば、上フタを上げてシルバーが冷めてからお使いください。 ●本体は過熱すると自動的に止まるようになっていきます。冷めるまで15分ほど待ち、再度お試しください。 ●ところどころシールされていないようであれば、シールモードボタンでHumid1またはHumid2を選択して再度試してください。
シール（溶着）した後、袋に空気が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●シール部分からの漏れはシワ、ゴミ、脂、液体などが原因の可能性あります。袋を開け、再度シールする前に袋内の上部をよく拭いてください。 ●袋に穴がないかをお確かめください。袋の中身に尖ったものがある場合、ペーパータオルなどあててから脱気し、袋に穴が開かないようにしてください
容器の空気を吸い出さない	<ul style="list-style-type: none"> ●ホースを本体のホース差込口とフタのホース差込口にしっかりねじ込み、差し込んでください。 ●フタと食品の間に少なくとも3cmの空間を取ってください。 ●フタのダイヤル矢印が“VACUUM”を指していることを確認してください。 ●フタのダイヤルを右いっぱいにしてから、左に回して矢印を“VACUUM”に合わせてください。 ●フタのガスケット（ゴム部分）に傷がないか確認してください。 ●ガスケット部分はぬるま湯を浸した布できれいに拭いてください。 ●液体は冷ましておく必要があります。もし真空パック運転中に液体がブクブク泡立ったら運転を止め、冷蔵庫で液体を冷やしてから再度お試しください。
脱気密封した後、容器に空気が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●フタのダイヤルの矢印が“CLOSED”を指していることを確認してください。 ●ふたのガスケットが正しい位置にあり、傷がないことを確認してください。

マリネ運転がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> ●専用容器のフタがOPENになっているか、ロックレバーがロックの位置にあるか確認してください。 ●容器のフタの位置が正しい位置にあるか確認してください。 ●容器のフタのパッキン部分に汚れが付着していたり、キズがないか確認してください。 ●ホースが本体と専用容器に正しく取り付けられているか確認してください。 ●吸引ディスプレイが点灯するまで、脱気の最初に容器のフタを上から軽く押さえてください。
---------------	---

■製品仕様

品名	真空パック器 Maxima2
形式	MV608(P0608ED)
電気定格	AC100V 50/60Hz
定格電流	1.3A
吸引力	-82kPa(61cm/Hg)
本体材質	ABS樹脂
外形寸法	幅400×奥行235×高さ110(mm)
重量	4.0kg

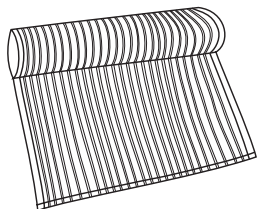
■保証書・アフターサービスについて

- この商品には保証書を添付しております。
保証書は本取扱説明書23ページにあります。
- 保証書はお買上げの販売店で発行しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日より1年間です。
保証期間中の修理でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については有料修理となります。
保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または、23ページの保証書に記載してある弊社にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

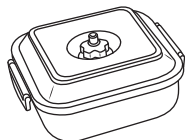
■消耗品・アクセサリーのご紹介とご購入方法



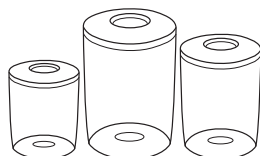
- カット袋（無地）AC01059（幅20×長さ30cm/50枚入り）
希望小売価格 税別2,000円



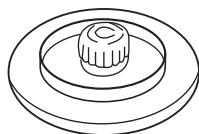
- ロール袋（無地）AC01025（幅30×長さ600cm/2本入り）
希望小売価格 税別2,400円
- ロール袋（無地）AC01026（幅20×長さ600cm/2本入り）
希望小売価格 税別2,000円



- 専用容器（マリン用）ACJ1083
（2.5リットル/幅230×奥行230×高さ120mm）
希望小売価格 税別6,000円
※マリン用以外にもご使用いただけます。



- 専用容器3個セット AC01082
（0.75リットル/直径112×高さ130mm）
（1.5リットル /直径135×高さ180mm）
（3リットル /直径159×高さ230mm）
希望小売価格 税別5,800円



- 万能フタ ACJ1011（適応開口直径寸法 4～12cm）
希望小売価格 税別2,000円

購入方法：真空パック器をご購入になられた販売店もしくは弊社（TEL 03-5643-1331、
<http://www.jgap.co.jp>）にてお求めください。

MAGIC VAC 真空パック器 保証書

持込修理

型 式	MV608 (P0608ED)		
お買い上げ日	年	月	日
保証期間	(お買い上げ日より)		本体 1年 (消耗品は除く)
お客様 ご住所 (フリガナ) お名前	□□□-□□□□	TEL ()	- 様
販売店	店名 住所	TEL ()	-

- この保証書はお買上げの日から1年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合には、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- (1) 万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。
- (2) 無料修理は、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にご依頼ください。
また、無料修理をお受けになる際は、必ず本書をご提示ください。
- (3) 離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係わる費用は実費を頂きます。
- (4) 次の様な場合には、保証期間中であっても、有料修理となります。
- (イ) 誤った使用方法あるいは取扱上の不注意による故障や損傷。
(ロ) 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
(ハ) お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
(ニ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。
(ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載)に使用した場合の故障や損傷。
(ヘ) 本書の提示がない場合。
(ト) お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。
- (5) 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid in Japan

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社



東京本社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 9F
TEL (03) 5643-1331 (代) FAX (03) 5643-1335

大阪支店 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル6F
TEL (06) 6125-2620 (代) FAX (06) 6125-2607

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 9F
TEL:(03) 5643-1331(代) FAX:(03)5643-1335
ホームページアドレス <http://www.jgap.co.jp>